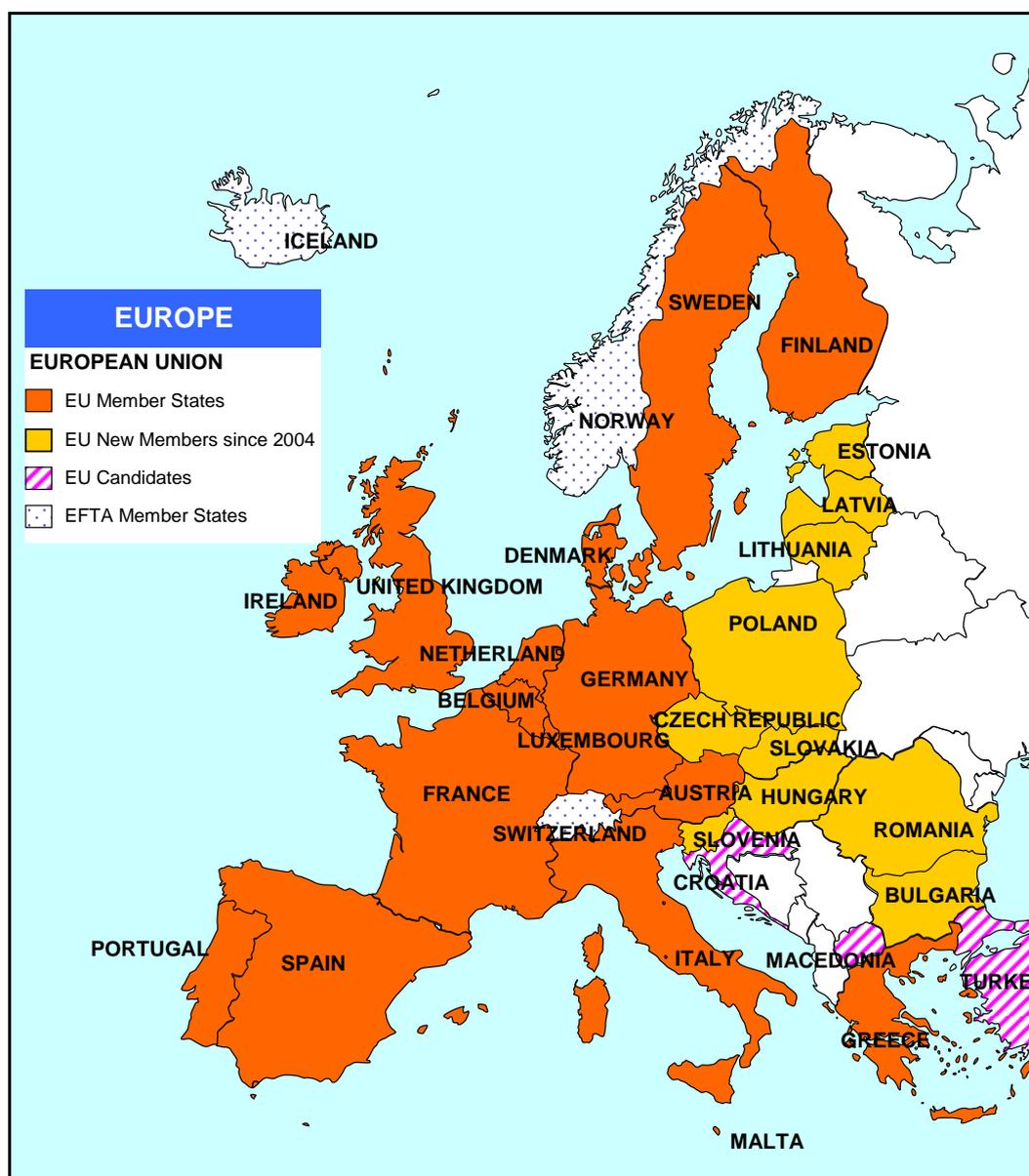


2013年2月21日 全13頁

欧州経済アップデート (2013. 2)

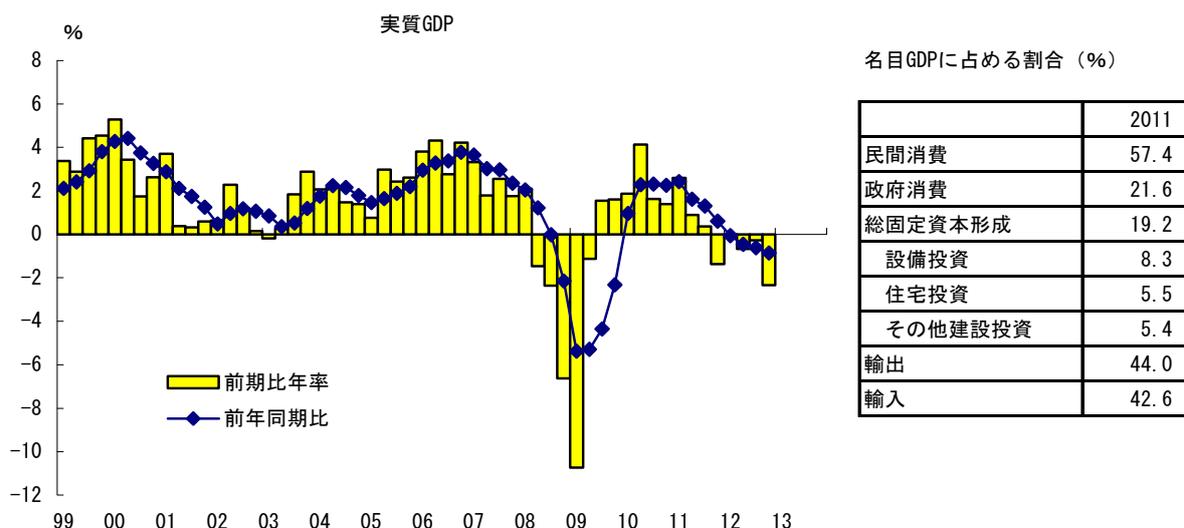
経済調査部 シニアエコノミスト 山崎 加津子
経済調査部 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 12年Q4のGDP成長率（速報）は前期比-0.6%、前年同期比-0.9%。5四半期連続の前期比マイナスは08年Q2～09年Q2に続き2回目
- 12年通年では前年比-0.4%と前年割れに転じた（11年：同+1.4%）
- 12年Q4の内訳は、3月6日の2次推計発表時に公表される



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.5	1.0	0.4	0.3	0.6	0.2	0.1	-0.3	-0.0	-0.2	-0.1	-0.6
個人消費	0.2	0.2	0.2	0.5	-0.0	-0.4	0.2	-0.5	-0.3	-0.5	-0.1	-
政府消費	-0.4	0.1	0.3	-0.1	-0.1	0.1	-0.3	-0.0	0.1	-0.1	-0.1	-
総固定資本形成	-0.2	2.0	0.3	-0.6	1.9	-0.2	-0.3	-0.5	-1.4	-1.7	-0.6	-
設備投資	2.1	2.9	1.7	1.1	1.3	0.6	0.3	-0.9	-2.0	-2.0	-1.0	-
住宅投資	-0.3	1.9	-0.7	-1.8	2.9	-0.6	-0.5	-0.2	0.1	-0.9	-0.7	-
その他建設投資	-3.2	0.7	-0.8	-2.1	1.8	-1.0	-1.1	-0.3	-2.1	-2.0	0.1	-
輸出	2.7	4.5	2.0	2.0	1.6	0.6	1.4	-0.0	0.5	1.6	0.9	-
輸入	3.4	4.1	1.4	1.7	1.3	0.1	0.5	-1.4	-0.3	0.6	0.3	-

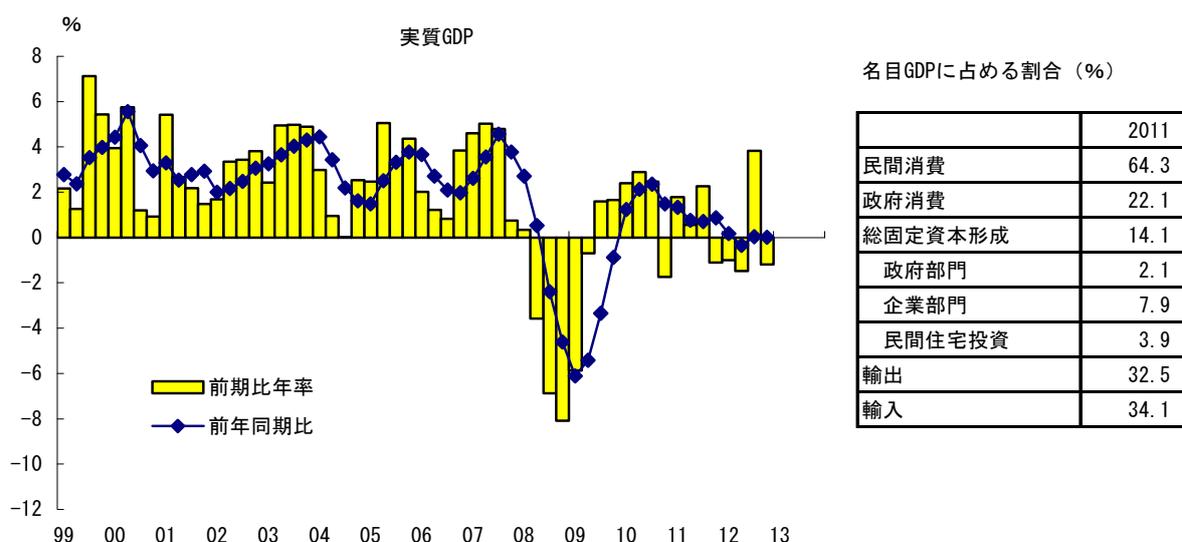
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.47	1.02	0.41	0.35	0.64	0.22	0.09	-0.34	-0.03	-0.17	-0.07	-0.59
個人消費	0.12	0.12	0.14	0.26	-0.01	-0.25	0.09	-0.30	-0.15	-0.26	-0.07	-
政府消費	-0.08	0.03	0.06	-0.01	-0.03	0.01	-0.06	-0.00	0.03	-0.02	-0.02	-
総固定資本形成	-0.04	0.37	0.05	-0.12	0.36	-0.04	-0.06	-0.10	-0.27	-0.31	-0.11	-
設備投資	0.17	0.24	0.14	0.10	0.11	0.05	0.02	-0.08	-0.17	-0.17	-0.08	-
住宅投資	-0.02	0.10	-0.04	-0.10	0.15	-0.03	-0.03	-0.01	0.00	-0.05	-0.04	-
その他建設投資	-0.17	0.03	-0.04	-0.11	0.09	-0.05	-0.05	-0.01	-0.10	-0.09	0.00	-
在庫変動	0.64	0.27	-0.10	0.06	0.19	0.29	-0.27	-0.49	0.00	-0.03	-0.13	-
輸出	1.08	1.82	0.83	0.84	0.70	0.25	0.60	-0.02	0.21	0.72	0.41	-
輸入	-1.27	-1.58	-0.56	-0.68	-0.54	-0.05	-0.19	0.57	0.12	-0.26	-0.13	-
純輸出	-0.19	0.24	0.27	0.16	0.16	0.20	0.41	0.55	0.33	0.47	0.27	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 GDP

- 12年Q4のGDP成長率は前期比-0.3%と再びマイナス成長となった。12年通年ではゼロ成長であった
- Q4は北海油田の定期修理・保守によって生産が落ち込んだ鉱業が製造業全体を押し下げた。サービス業も若干のマイナス寄与となった
- 12年Q4の内訳は2月27日に発表予定



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：％）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.6	0.7	0.6	-0.4	0.4	0.1	0.6	-0.3	-0.2	-0.4	0.9	-0.3
個人消費	-0.0	1.0	-0.1	0.3	-1.3	-0.1	-0.2	0.2	0.5	0.4	0.3	-
政府消費	-0.2	0.1	-0.7	-0.1	-0.0	0.4	0.1	-0.1	3.2	-1.1	0.8	-
総固定資本形成	5.1	-2.7	2.8	-1.7	-2.0	-0.4	0.3	-0.4	0.6	-0.5	-0.2	-
政府部門	12.5	-14.4	0.1	0.4	-16.6	-9.3	1.8	-8.3	11.7	-8.0	8.9	-
企業部門	8.0	-5.8	3.6	-0.5	-2.0	4.6	2.3	2.6	-2.7	1.4	3.8	-
民間住宅投資	-1.8	12.4	3.2	-4.8	8.9	-5.7	-3.5	-2.8	2.7	0.1	-13.8	-
輸出	-0.4	4.0	0.9	3.3	1.4	-1.9	-0.0	2.9	-1.7	-1.1	1.2	-
輸入	2.0	2.9	2.1	1.5	-2.6	-0.2	0.1	1.6	-0.1	1.7	-0.4	-

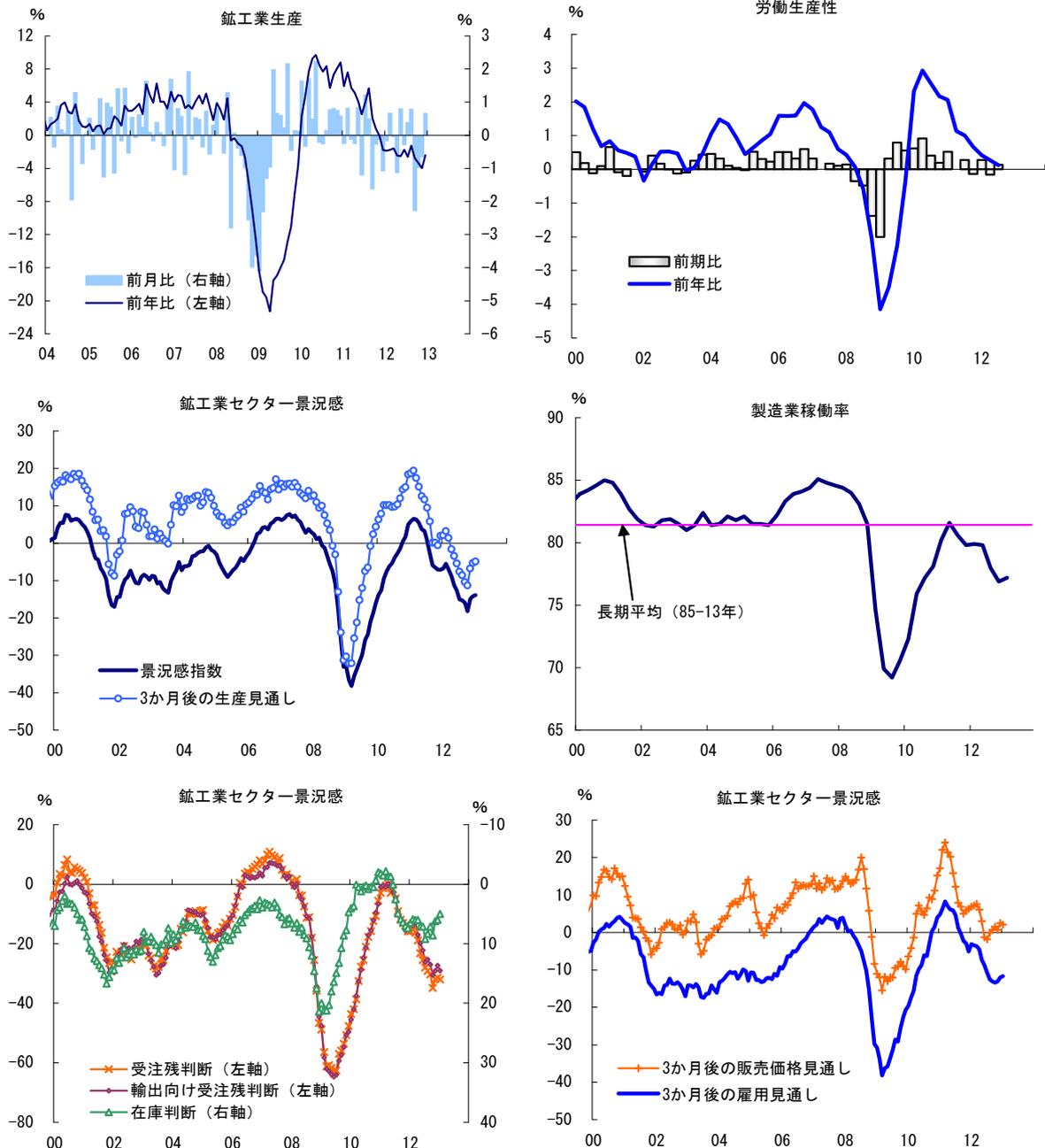
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：％）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.59	0.71	0.61	-0.43	0.44	0.14	0.56	-0.28	-0.25	-0.37	0.94	-0.30
個人消費	-0.01	0.61	-0.09	0.19	-0.81	-0.05	-0.14	0.12	0.30	0.27	0.20	-
政府消費	-0.04	0.03	-0.17	-0.02	-0.00	0.08	0.03	-0.03	0.73	-0.26	0.19	-
総固定資本形成	0.76	-0.41	0.41	-0.26	-0.31	-0.06	0.04	-0.06	0.08	-0.08	-0.03	-
政府部門	0.34	-0.44	0.00	0.01	-0.44	-0.20	0.04	-0.17	0.21	-0.16	0.17	-
企業部門	0.62	-0.48	0.28	-0.04	-0.16	0.36	0.19	0.22	-0.23	0.12	0.32	-
民間住宅投資	-0.07	0.47	0.14	-0.21	0.37	-0.26	-0.15	-0.12	0.11	0.00	-0.56	-
在庫変動	0.32	0.23	0.84	-0.86	0.03	0.59	0.61	-0.68	-0.83	0.65	0.11	-
輸出	-0.13	1.16	0.27	0.99	0.44	-0.60	-0.01	0.89	-0.52	-0.36	0.39	-
輸入	-0.61	-0.90	-0.66	-0.49	0.85	0.06	-0.02	-0.51	0.03	-0.54	0.14	-
純輸出	-0.74	0.25	-0.39	0.50	1.29	-0.54	-0.03	0.38	-0.49	-0.90	0.52	-

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 12月の鉱工業生産は前月比+0.7%、前年比-2.4%。前月比で4か月ぶりにプラスに転換
- 1月の鉱工業セクター景況感は3か月連続で前月比改善。受注残判断はやや悪化した、生産見通し及び在庫判断が改善した
- 13年Q1の製造業稼働率は77.2%（12年Q4：76.9%）となり、12年Q1以来の前期比上昇

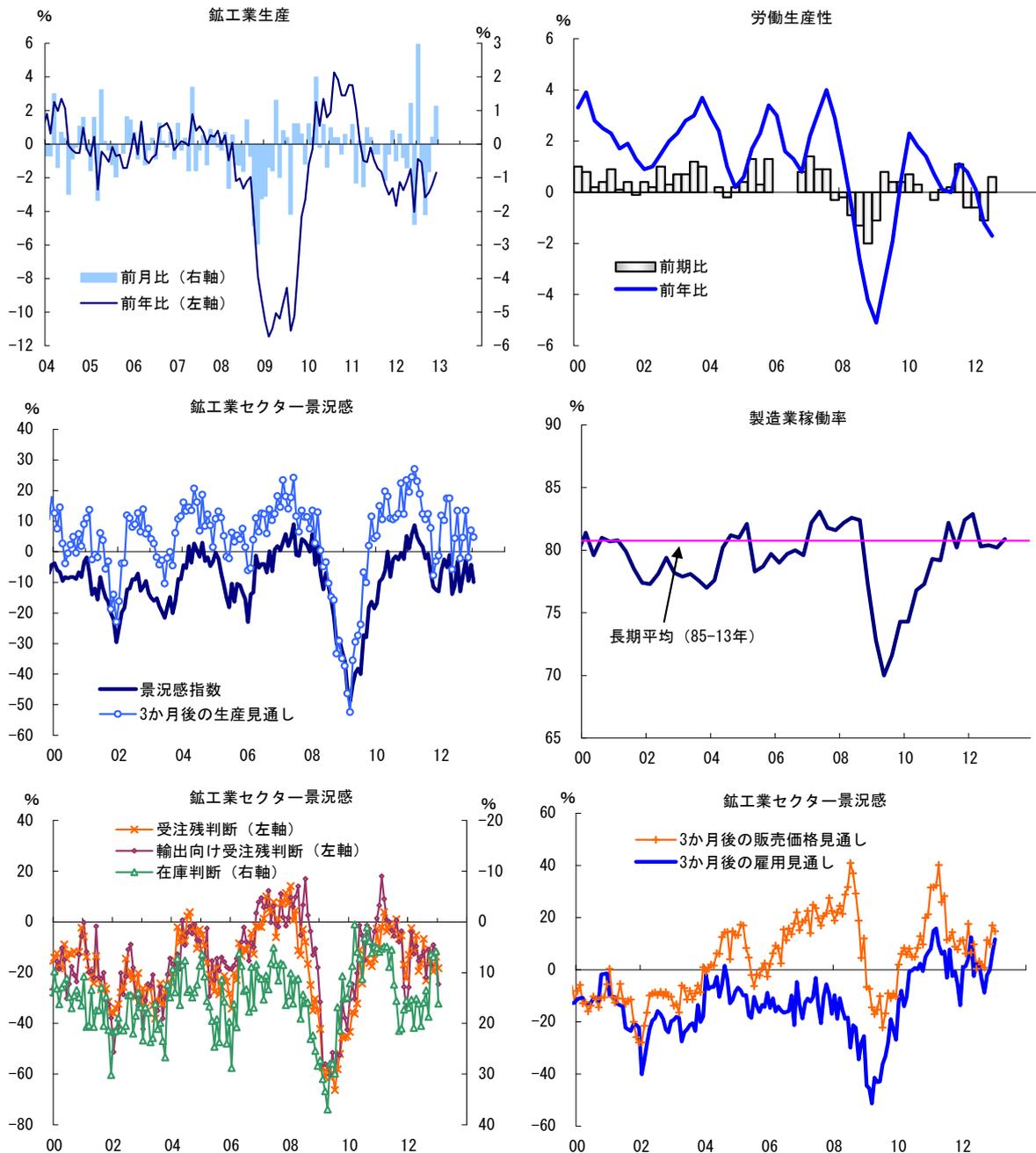


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 12月の鉱工業生産は前月比+1.1%、前年比-1.7%。前月比は2か月連続で改善
- 1月の鉱工業セクター景況感は前月比で悪化。3か月後の生産見通し、受注残判断、在庫判断共に悪化
- 13年Q1の製造業稼働率は80.9%（12年Q4：80.2%）となり、長期平均をやや上回る水準まで上昇

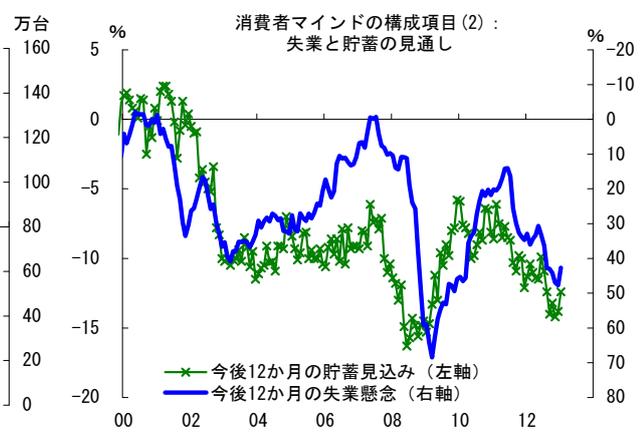
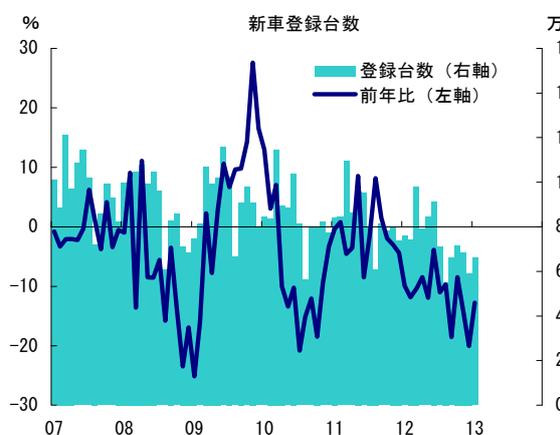
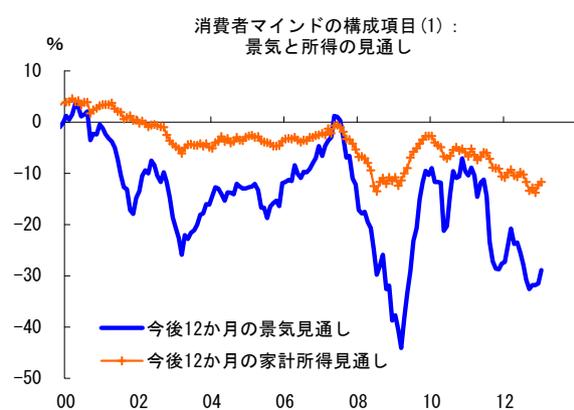
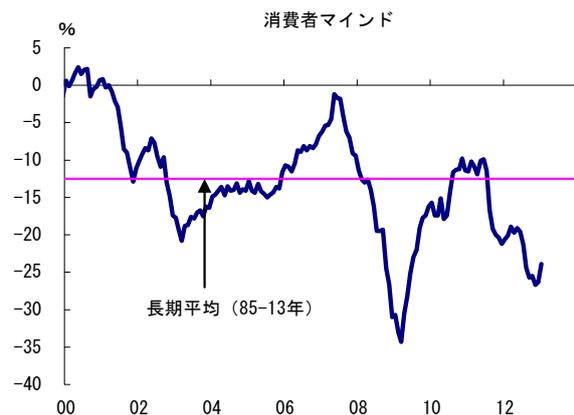
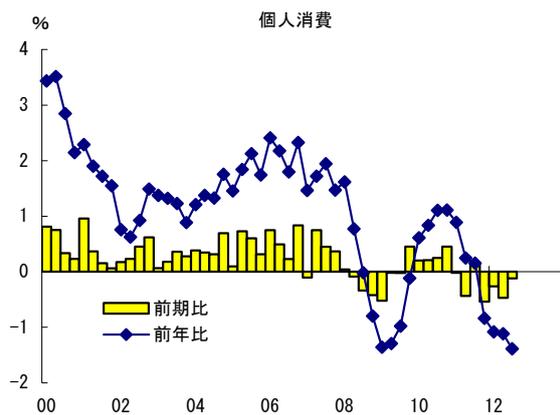


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 12月の小売売上高は前年比-3.4%と下落幅が更に拡大
- 1月の消費者マインドは前月比で大きく改善し、底打ちした模様。特に今後12か月の失業懸念及び景気見通しが大幅に改善
- 1月の新車登録台数は前年比-12.8%（66万2千台）。過去10年間（03年以降）の1月と比較すると、台数は最少、伸び率は09年に次ぐ低さとなっている

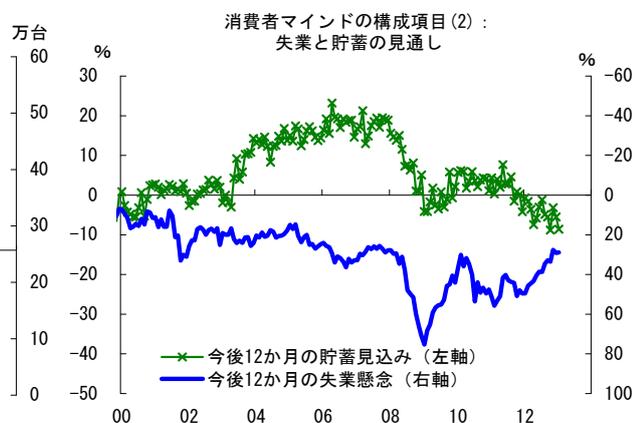
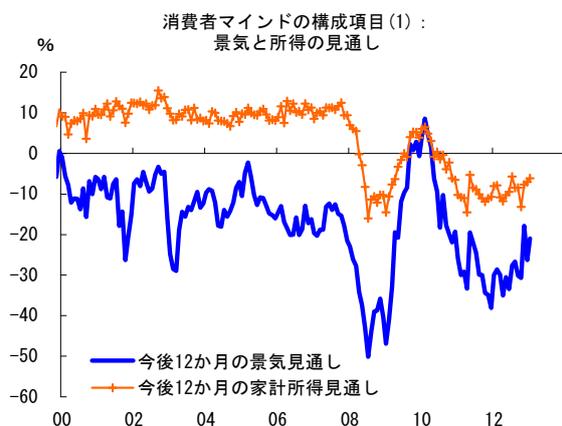
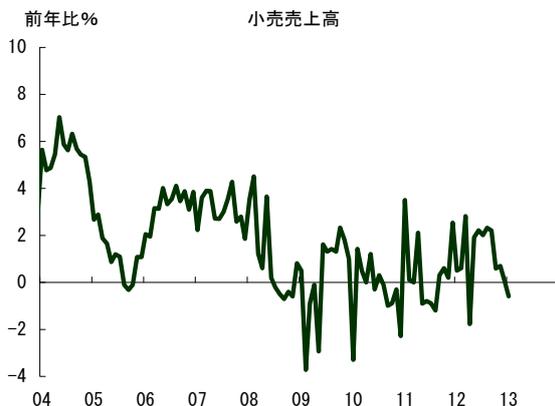
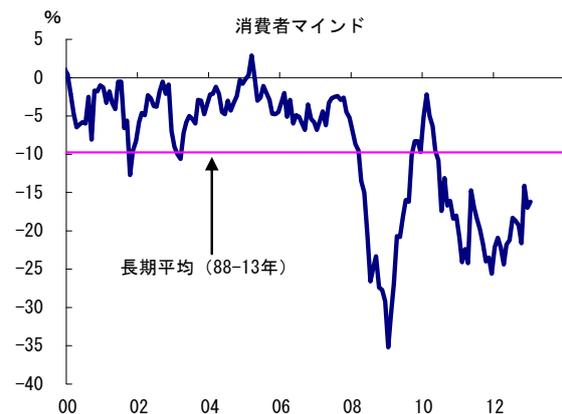


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 1月の小売売上高は前年比-0.6%と9か月ぶりの前年割れに転じた。マイナス寄与が最も大きかったのは食品セクターで、中でも小規模企業の売上が1月後半の大雪で減少
- 1月の消費者マインドは前月比やや改善。今後12か月の家計所得見通しは3か月連続で緩やかに改善続くが、貯蓄見込みは2か月連続で悪化
- 1月の新車登録台数は前年比+11.5%と再び力強い伸びとなった

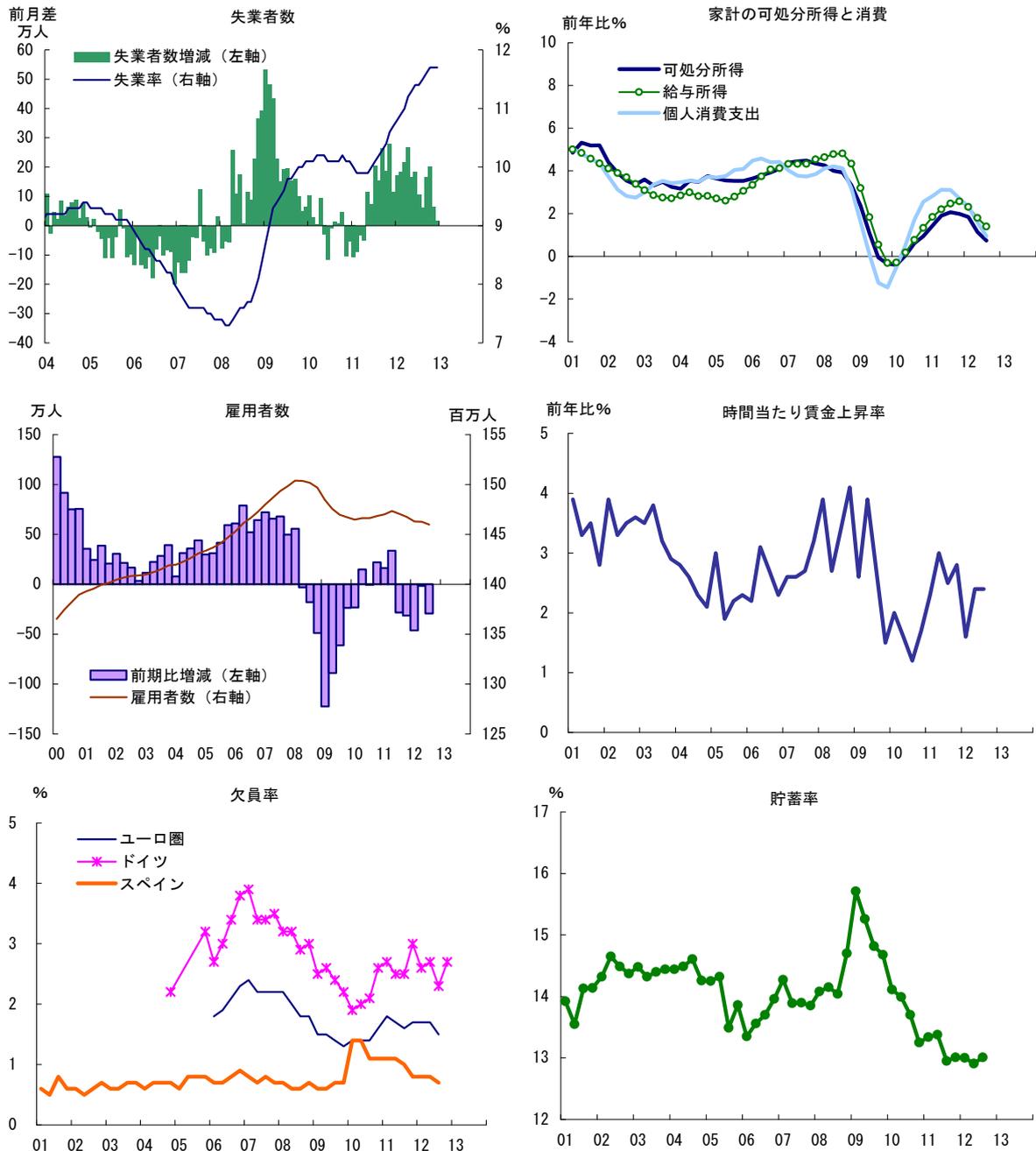


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 12月の失業率は11.7%と10月以降高止まり。失業者の増加数は2か月連続で大きく減少
- Q3の個人消費支出は前年比+1.0%（Q2：同+1.6%）となり、家計の可処分所得や給与所得より伸び率の縮小が大きかった
- Q3の貯蓄率は13.0%とQ2よりやや上昇したが、11年Q3以降の水準に大きな変化はなし

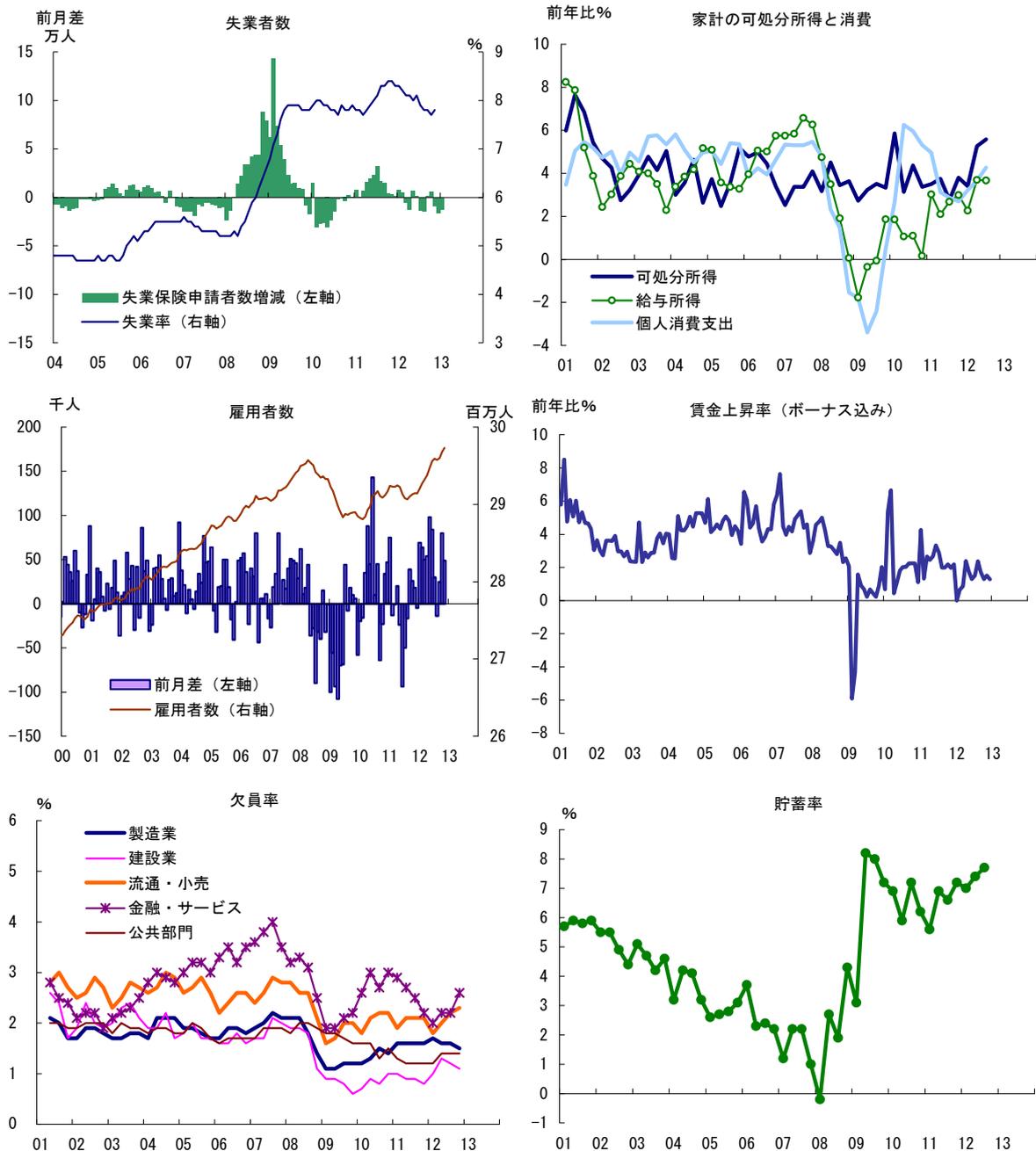


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 10-12月の雇用者数は9-11月比4万9千人増加。パートタイム雇用者が減少し、フルタイム雇用者が増加している
- 失業保険申請者は1月に前月比1万3千人減少となり、3か月連続で減少している
- 12月の賃金上昇率は前年比+1.3%と低い伸びが続く

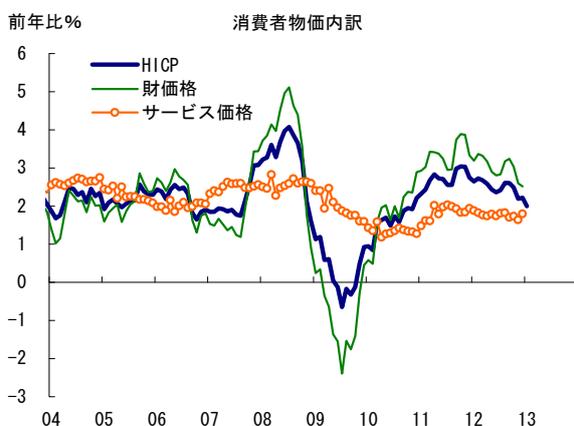
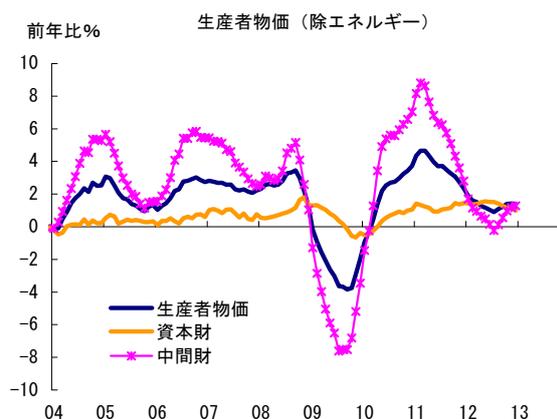


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

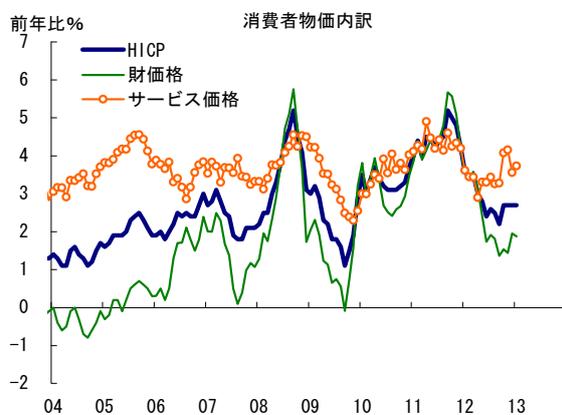
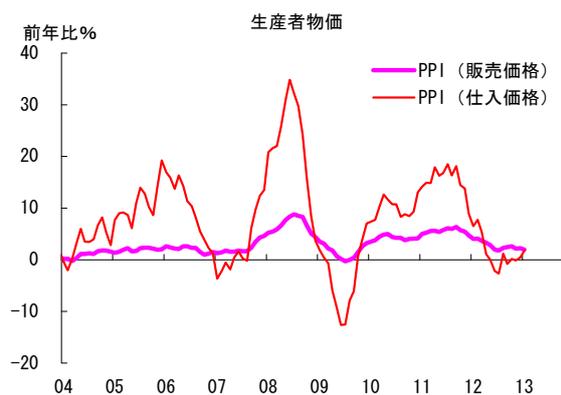
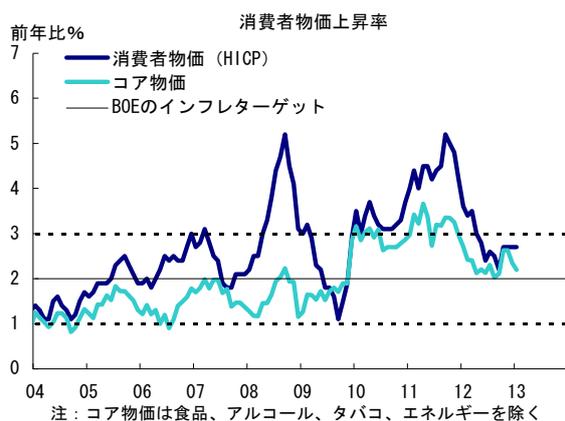
- 1月の消費者物価（HICP）上昇率（速報）は前年比+2.0%となり、欧州中央銀行（ECB）が目標としているインフレ水準に近づいた
- 12月の生産者物価は3か月連続の前年比+1.4%。中間財は12年7月を底とした伸び率の上昇が続く
- 1月のユーロの名目実効為替レートは前月比で上昇し、12年8月からの上昇傾向が継続。1月の原油価格（北海ブレント）は前月比で上昇に転じた



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

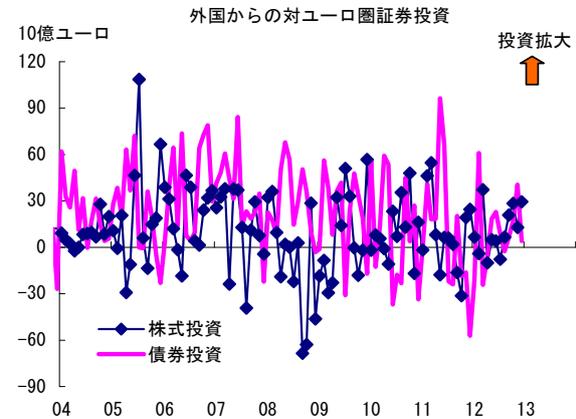
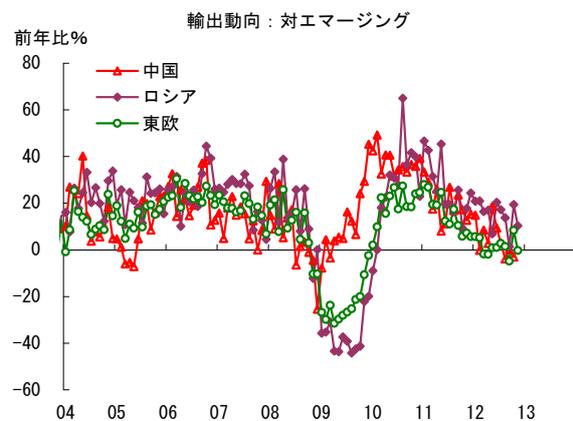
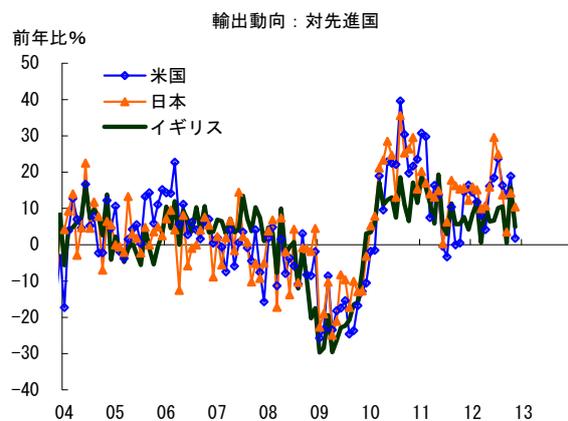
- 1月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.7%と4か月連続で変わらず。コア物価は同+2.3%と12月より伸び率が鈍化
- 1月の生産者物価上昇率は、販売価格は前年比+2.0%、仕入価格は同+1.8%。仕入価格の上昇は、国内食品価格の上昇によるもの
- 12月の輸入物価上昇率は前年比-1.4%。ポンドの名目実効為替レートはこれまでほぼ横ばいで推移していたが、1月は前月比で下落



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

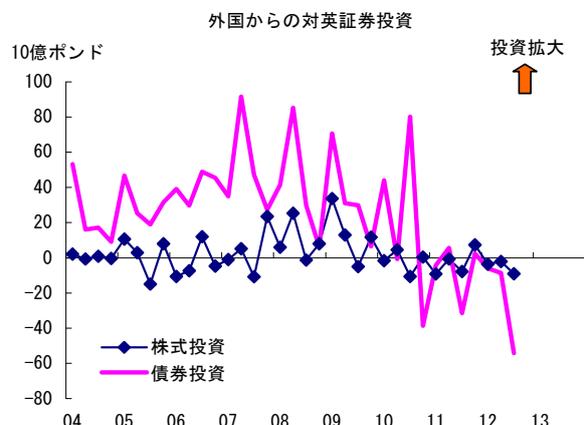
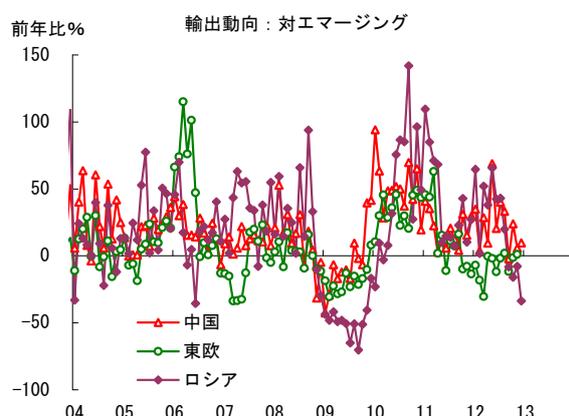
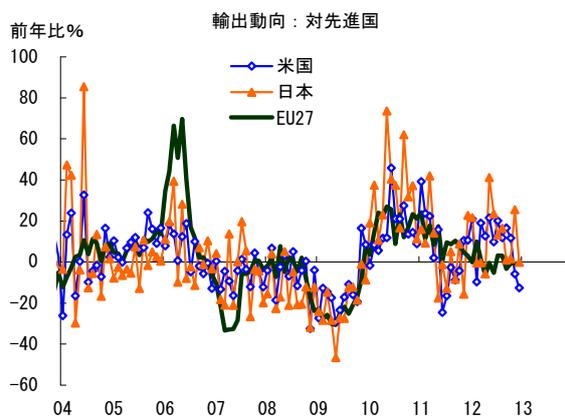
- 12月の輸出は前年比-3.1%、輸入は同-5.9%。輸出の前年割れは09年12月以来で、工業製品や原材料の減少が目立つ
- 輸出向け受注残判断は、2か月連続の前月比改善の後、1月は悪化に転じた
- 12月の経常収支は270億ユーロの黒字で、97年の統計開始以来の最高値。外国からの対ユーロ圏証券投資は4か月連続で株式・債券投資がそろって買い越し



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 12月の輸出は前年比 -1.1% と3か月連続の前年割れ、輸入は同 $+3.5\%$ と4か月ぶりのプラス。北海油田の修理・保守による石油生産の減少が主要因
- 1月の輸出向け受注残判断は前月比で大幅に悪化
- 国別輸出動向は、対先進国では米国向けが減少幅拡大、日本向けが前年比割れに転落。対エマージングではロシア向けが減少幅を大幅に拡大させた



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成